日文教育資料

つなぐ つながる ICT

2026.10
Vol.04

特集 いま押さえたい

教育ICTの注目キーワード



ひとことで わかる解説 | 注目の理由 | 教育との つながり

日文のWebサイト
日文

監修：豊福晋平
（国際大学 GLOCOM 主幹研究員／准教授）

※本冊子掲載二次元コードのリンク先コンテンツは予告なく変更または削除する場合があります。
本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則り、配布を許可されているものです。

心が動く、その先へ。
日本文教出版

特集 いま押さえたい

教育ICTの注目キーワード

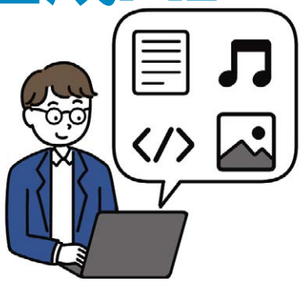
「最近よく聞くけれど、どんな意味？」「学校とはどう関係するんだろう？」
教育 ICT をめぐる注目のテーマをご紹介します。

※掲載内容は、2026 年 10 月時点の情報です。

このページの見方

- **ひとことで言うと** キーワードの概要を簡潔にまとめています。
- **なぜ、いま？** 注目されている背景を紹介します。
- **学校では？** 学校教育にどう関わってくるのかを解説します。
- **関連キーワード** さらに知っておきたいキーワードをピックアップしました。

生成AI



ひとことで言うと
文章や画像、音声などのコンテンツを生成できる AI（人工知能）。

なぜ、いま？
生成 AI が急速に普及し、社会のさまざまな場面で活用が広がっています。学校教育でも、その特徴やリスクを理解し、適切に活用する力を育むことが求められるなか、文部科学省はガイドラインを示し、学校での実践を進めています。※1

学校では？
アイデア出しや文章作成、授業・教材づくりなど、さまざまな活用が考えられます。一方で、生成された内容について、情報の正確性や著作権に注意する必要があります。

日文でも！



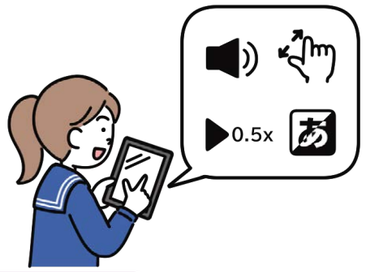
道徳教育専門 AI チャットサービス「教えて！ AI とくだ先生！」を期間限定で公開しています。
※ 2027 年 3 月 31 日まで

関連キーワード

LLM（エルエルエム）（大規模言語モデル）
Large Language Model
大量の文章を学習し、言葉のつながりを予測しながら文章を生成する AI の仕組み。事実として正しい情報をそのまま取り出すのではなく、学習したパターンをもとに文章を生成するため、ハルシネーション（事実と異なる内容をもっともらしく生成すること）が起こる場合があります。

AI エージェント
目的に応じて必要な作業を判断し、実行していく AI の仕組み。質問への回答だけでなく、情報収集や整理など、複数の作業を進める点が特徴です。

アクセシビリティ



ひとことで言うと
情報やサービスへのアクセスのしやすさを表す考え方。教育 ICT では、一人ひとりの特性や利用環境などにかかわらず、学習に必要な情報や機能を利用できることが大切です。※3

なぜ、いま？
教育のデジタル化が進むなか、子どもたちの特性や学びやすい方法はさまざまです。こうした違いを前提に、誰もが学びに参加できる環境をつくるうえで、アクセシビリティは重要な観点です。

学校では？
文字を拡大する、音声で読み上げる、キーボードで入力するなど、学習に使う道具や方法にはさまざまな選択肢があります。自分に合った方法を知り、必要に応じて選ぶ意識を育てていくことも大切です。

関連キーワード

UI／UX（ユーアイ／ユーエックス）
User Interface / User Experience
UI（ユーザーインターフェース）
画面の文字やボタン、メニューなど、利用者が直接見たり操作したりする部分。
UX（ユーザーエクスペリエンス）
サービスを利用するなかで得られる体験。使いやすさや分かりやすさなども含まれます。

インクルーシブ教育
多様な子どもたちがいることを前提に、すべての子どもが学びに参加できる環境をつくるための考え方。※4

CBT



ひとことで言うと
Computer Based Testing の略。
パソコンやタブレットなどを使って行う試験のこと。

なぜ、いま？
全国学力・学習状況調査では、CBT 方式の導入が段階的に進められています。CBT では、動画や音声などを使った多様な出題や、解答データを活用した分析など、紙のテストとは異なる方法で学力や学習状況を捉えることができます。※2

学校では？
CBT では、解答をデータとして収集できます。
こうしたデータを活用し、学習状況の把握や指導の改善につなげることが期待されています。

日文でも！



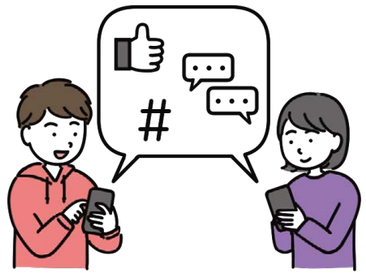
高校「情報Ⅰ」の「情報Ⅰ 公開実力確認テスト」を、CBT 方式で実施しています。

関連キーワード

MEXCBT（メクビット）
文部科学省が提供する CBTプラットフォーム。

IRT（アイアールティー）（項目反応理論）
Item Response Theory
異なる問題を使ったテストの結果を、同じ尺度で比較できるようにする考え方。全国学力・学習状況調査では、CBTとあわせて活用が進められています。さまざまな問題を出題できるため、幅広い領域・内容を調査できます。

デジタル・シティズンシップ



ひとことで言うと
デジタル技術を活用しながら、社会の一員としてよりよく生き、参加していくための考え方。※5

なぜ、いま？
端末や SNS、生成 AI などが身近になるなか、デジタル技術を安全に使うだけでなく、さまざまな場面で自ら考え、判断し、よりよく活用していくことが求められています。

学校では？
情報モラルや安全な利用について学ぶことに加え、デジタル技術を使った情報発信や他者との交流などを通して、社会に参加していく力を育てることが大切です。

日文でも！



Web マガジン『学び！と ICT』で、デジタル・シティズンシップの連載を2026年11月5日より開始予定です。

関連キーワード

デジタル・ウェルビーイング
デジタルと上手に付き合い、心身の健康や幸福を大切にする考え方。

メディアリテラシー
情報をうのみにせず、主体的・批判的に読み解く力。さらに、メディアの仕組みを理解し、自らメディア作品をつくる力も含まれます。

参考：※ 1 文部科学省「初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドライン（Ver.2.0）」（令和 6 年 12 月 26 日公表）、「学びの充実など教育課題の解決に向けた教育分野特化の生成 AI の実証研究」成果報告書【本編】
※ 2 文部科学省「今後の全国学力・学習状況調査の CBT での実施について」（令和 8 年 6 月改定）

※ 3 デジタル庁「ウェブアクセシビリティ導入ガイドブック」、文部科学省「デジタルな形態を含む教科書の発行・採択等の指針に関する検討会議」資料
※ 4 UNESCO『Global Education Monitoring Report 2020: Inclusion and education: All means all』
※ 5 Council of Europe『Digital Citizenship Education Handbook』（2022）

最新ニュース

新刊予告

AIリテラシー・ワークブック

自ら考え、判断する力を育む！
AIとの「向き合い方」を築く

10のレッスン

AIに関する身近な事例を通じて、
技術・倫理・社会との関わりを
多角的に考えるワークブックです。



見本本をご希望の方は
弊社営業担当または Web サイトの
お問い合わせフォームへ

2027年
3月下旬
発売予定！

詳しくはこちら

サポート情報



デジタル教科書サポートサイト

セットアップマニュアルや
実践事例のご紹介など、
デジタル関連の情報を
まとめた特設サイトです。



イチから分かる！デジタル教科書 キホンのキ

よく聞くカタカナ語の解説から活用
アイデアまで、デジタル教科書に関
することを幅広くご紹介する一冊です。

デジタル商品・サービスについてのお問い合わせ

デジタルサポートデスク（平日10時～17時）
d-sapo@nichibun-g.co.jp

日文公式SNSアカウントをチェック！

日文の最新情報に加え、日々の授業
で役立つ情報を各プラットフォーム
でお届けしています。

一覧ページはこちら

つなぐ つながる ICT　Vol.4

日文教育資料
令和８年（2026年）10月30日発行

編集・発行人　佐々木 秀樹
監修：豊福晋平

日本文教出版株式会社
〒558-0041 大阪市住吉区南住吉 4-7-5
TEL：06-6692-1261
FAX：06-6606-5171

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD340111O040

日本文教出版株式会社
https://www.nichibun-g.co.jp/

大阪本社　〒558-0041 大阪市住吉区南住吉 4-7-5
TEL：06-6692-1261　FAX：06-6606-5171

東京本社　〒165-0026 東京都中野区新井 1-2-16
TEL：03-3389-4611　FAX：03-3389-4618

九州支社　〒810-0022 福岡市中央区薬院 3-11-14
TEL：092-531-7696　FAX：092-521-3938

東海支社　〒461-0004 名古屋市東区葵 1-13-18-7F-B
TEL：052-979-7260　FAX：052-979-7261

北海道出張所　〒001-0909 札幌市北区新琴似 9-12-1-1
TEL：011-764-1201　FAX：011-764-0690